

○日本国内で津波を伴った地震

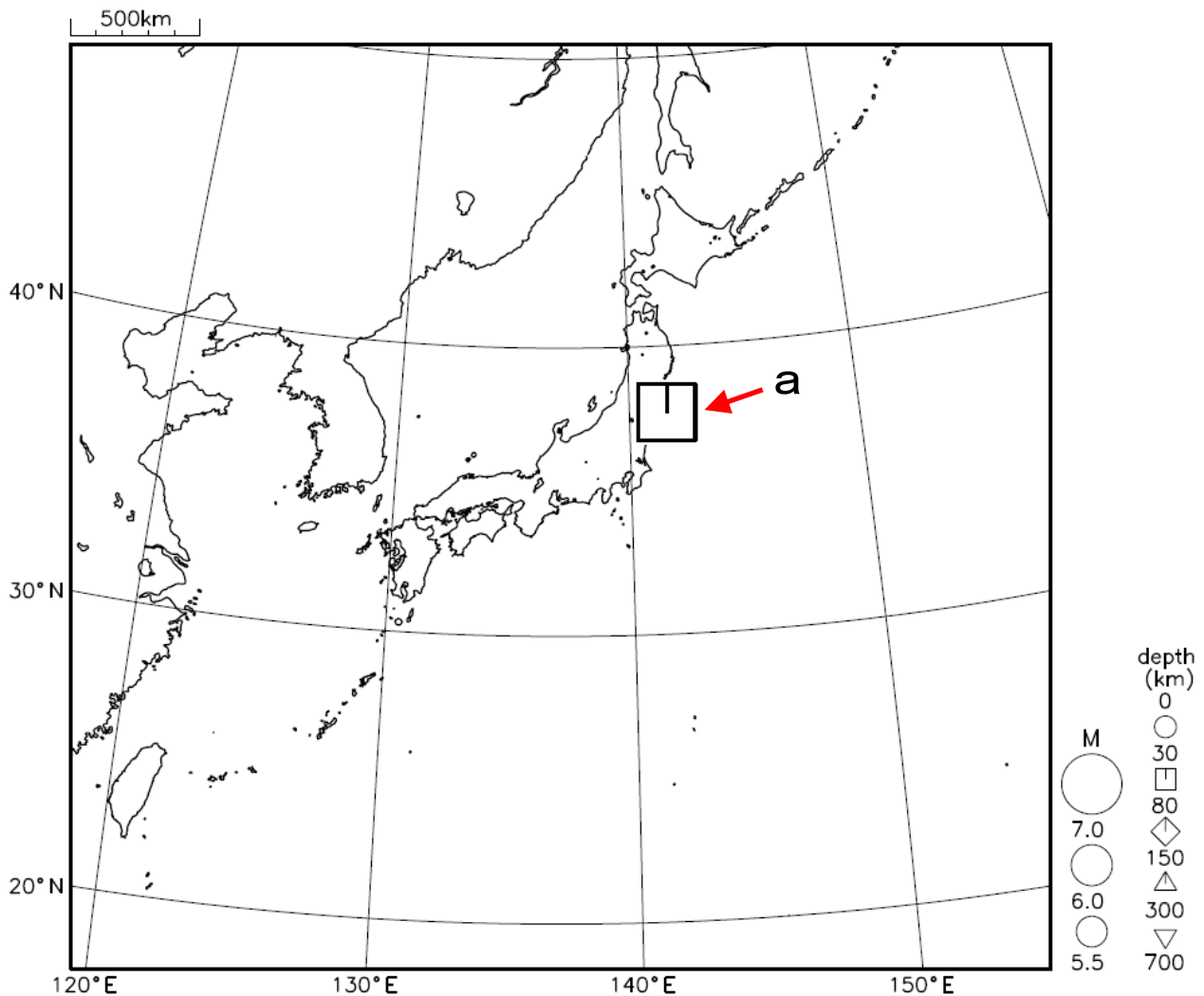


図12 日本周辺で発生した津波を伴った地震の震央分布図（2022年1月1日～12月31日、M \geq 5.5）

[概況]

2022年に日本国内及びその周辺で発生し津波を伴った地震は1回（2021年は1回）であった。また、海外で発生した地震による津波は日本では観測されなかった。

3月16日23時36分に福島県沖の深さ57kmでM7.4の地震（図12中のa）が発生し、宮城県及び福島県で震度6強を観測したほか、北海道から中国地方にかけて震度6弱～1を観測した。また、宮城県北部で長周期地震動階級4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて長周期地震動階級3～1を観測した。この地震により、宮城県の石巻港^{※1}で31cm、仙台港^{※2}で0.2m、福島県の相馬^{※2}で0.2mの津波を観測するなど、青森県から茨城県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

1月15日13時頃（日本時間）にトンガ諸島付近のフンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山で噴火が発生した。この噴火により、鹿児島県の奄美市小湊で134cm、岩手県の久慈港^{※1}で107cmの潮位変化を観測したほか、太平洋側を中心に日本国内の多数の潮位観測点で潮位変化を観測した。

※1：国土交通省港湾局の観測点

※2：巨大津波観測計による